

平成28年度第1回学校給食用食器検討委員会会議録

日時 平成29年2月28日

午後4時～4時40分

場所 給食センター会議室

(事務局)

定刻になりましたので、委員会を始めさせていただきます。

本日はお忙しい中、平成28年度第1回目の江別市学校給食用食器検討委員会にお集まりいただきましてありがとうございます。

私は当委員会の事務局を務めております、給食センター長の内藤と申します。

どうぞよろしく願いいたします。また、左隣は森山業務係長、右隣は福井主任です。

(森山・福井あいさつ)

森山です。よろしく願いいたします。

福井です。よろしく願いいたします。

さて、学校給食用食器検討委員会は、委員12名をもって組織しておりまして、児童及び生徒に対し、安心して提供できる学校給食用食器の選定について検討するため、学校給食用食器の安全性等に関する調査審議を行い、食器の更新、選定について教育委員会に意見・提言等を述べることを目的としております。

その食器のうち、現在使用している給食用箸の選定した詳細は、後程経過を説明いたしますが、経緯としては平成24年2月から平成25年11月まで計8回の江別市学校給食用食器検討委員会での審議を経て、平成25年12月25日開催の教育委員会において「ポリエチレンテレフタレート製箸（PET箸）」を承認、選定されております。

この結果「PET箸」は、平成26年度から使用開始しており、耐用年数は5年となっていることから、更新時期は平成31年度になります。

つきましては、平成31年度以降に使用する箸の選定について、本日の委員会を開催するものです。

それでは、早速であります式次第に基づきまして進めさせていただきます。

次第の2番目、部長より各委員の皆様へ委嘱状を交付させていただきます。

【各委員に委嘱状交付】

次第の3番目、平成25年12月25日以降、特に事案もないことから、この委員会を開催してはなく、事務局も人事異動で変更になっていることもあり、まず最初に渡部部長からの挨拶から、始めたいと思います。

部長、よろしく願いいたします。

(部長)

みなさんこんにちは。教育委員会の渡部でございます。本日は、お忙しい中、江別市学校給食用食器検討委員会の委員を、ご承諾いただき、誠にありがとうございます。

昨今、学校給食は子供たちの最後の砦といいますか、非常に関心も高く、また安全で安心な給食を提供していく使命も非常に高いものと思っています。

そうした中で、食器の問題も過去に色々議論を重ねていることに対しまして、深く感謝申し上げます。

これからもいろんな面で、ご協力をいただくこととなりますが、今後とも積極的な議論をいただく中で、子ども達のために、ご尽力をいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

次に次第の4番目ですが、皆さんから自己紹介をお願いいたします。

(各委員・自己紹介)

ありがとうございました。

続きまして、委員長・副委員長の選出ですが、どなたかご提案はございますでしょうか。

【事務局一任】

事務局一任という声がありましたので、事務局案としまして、委員長は校長会から推薦されました、文京台小学校の三科校長先生に、副委員長は江別市PTA連合会から推薦されました富田副会長に願いたいと思いますが、委員の皆さんいかがでしょうか。

賛同いただけましたら、拍手をお願いいたします。

【拍手多数】

それでは、三科校長先生に委員長を、富田副会長に副委員長をお願いいたします。

では、委員長と副委員長一言ずつご挨拶をお願いします。

(委員長)

この検討委員会の経緯は、資料でしか確認しておりませんが、今後については、皆さんの意見を基に進めて行きたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(副委員長)

市P連の役員は2年しておりますが、この検討委員会の役員は初めてです。

今後は、皆さんと話し合いながら進めていきたいので、よろしく願いいたします。

ありがとうございました。

それでは、この後の議事からは、三科委員長の進行でお願いいたします。

(委員長)

それでは、議事に入る前に、この検討委員会は前回まで全て公開とし、希望する傍聴者の方には入室していただき、また議事録もホームページに掲載しております。

したがって、今回の検討委員会も同様に公開とし、議事録をホームページに掲載したいと思いますので、委員の皆さんの了解を得たいと思います。

委員の皆さんよろしいでしょうか。

(委員一同)

了承

(委員長)

皆さんのご了承をいただきました。傍聴者の方がいらっしやったのでしょうか。

(事務局)

2名傍聴者の方がいらっしやったのですが、傍聴者入室時間を過ぎていたので、お断りしました。

このため、このまま議事を始めてください。

(委員長)

それでは議事に入ります。まず次第の6説明・報告事項(1)の『前回までの委員会における箸の検討について』から(4)の『箸材質調査票』まで一括、事務局より説明願います。

(事務局)

私から、現在使用している学校給食用箸が、PET箸に選定された経緯を説明いたします。開催通知を送付した際、検討概要書及び議事録を同封していますので、概略説明にとどめたいと思います。

現在使用している箸は、平成24年2月14日から計8回の江別市学校給食用食器検討委員会での、検討会議を経てPET箸に選定されております。

主な検討内容は、選定するに当たり竹箸とPET箸が候補にのこり、竹箸については2か月間給食センターで試用した結果、竹の特性と考えられる若干の曲がりが生じ、また箸の先端から40%程度の部分の色が少し濃くなっているものがありました。

PET箸については、使用材料の中の充填剤について、安全なものを使用しているが、企業秘密のため公表できないと販売会社から回答がありました。

検討委員会では、これらの問題点について、竹箸の先端部の黒ずみについては、衛生面での安全性を危惧する意見が出されました。

また、PET箸については材質中成分が明らかにされない材料について、安全性が確保できないとの意見が出されました。

どちらの箸も100%安全との確証が得られず、どちらの箸にするかの意見統一ができないなか、長期間使用してみて判断するという案について、全員の賛同を得られました。

その後、約6か月間2校で竹箸を使用したところ、使用した学校の児童生徒及び教職員の意見は、ささくれ、着色、曲りについて気にならないとの感想・意見が多かったのですが、最初はささくれの破片がたくさん落ちていた、黒ずんでいる、着色がある、歯型がついているなどの感想・意見もありました。

検討を重ねる中で、「黒ずみは油分などが染み込んでいるのではないかと不安を感じる。洗浄時に洗剤成分も染み込むことが考えられ、衛生面で不安がある。ささくれについても食器に付いて食材に混入する可能性があり、対応が難しい。コストを抑える点、PET箸が危険と判断できない限りPET箸でお願いしたい。」などとの、賛成する意見が多数となったPET箸を選定するとの結論に至りました。

この結果、平成25年12月12日付で、教育委員会に意見を報告し、それを受けて、教育委員会において、平成25年12月25日付で、学校給食用食器の箸については「PET箸」を承認、選定され、平成26年度から使用開始しております。

続きまして、平成24年度以降の食器購入について、ご説明いたします。

資料1をご覧ください。

平成25年度にPET箸を購入後、破損などの理由により、平成26年度と平成27年度に小中学校用箸をそれぞれ300本補充しています。

なお、竹箸とPET箸の現在の単価について、調査しておりますので、参考までにお知らせします。

竹箸の20cmで365円、22cmで379円。

PET箸は19.7cmで120円、21.2cmで126円。22.7cmで132円となっており、単価については、10,000膳購入した時によるものです。

なお、カップと皿についても破損による補充となっております。

続いて、資料2をご覧ください。

道内調理場における食事用食器の一覧表で、総括表をご覧ください。199調理場のうち、箸の支給している調理場は101調理場となっております。

次に、箸支給で1,000食以上の道内共同調理場での箸の材質について調査をいたしました。資料3をご覧ください。対象は23調理場となり、それを一覧にしましたのが、次ページとなっております。

なお、それぞれの箸の特徴についての概要についても明記しておりますので、確認願います。

説明は以上です。

(委員長)

事務局から説明がありました。質問等ありませんか。

【各委員からの質問なし】

(委員長)

各委員からの、質問が無いようなので、協議に入りたいと思います。

まず、事務局から説明事項があればお願いいたします。

(事務局)

現在使用している、「PET箸」は、平成26年度から使用しており、耐用年数は5年となっているため、次の更新時期は平成31年度になります。更新に際しては、この委員会で検討すること、また納品期間及びその経費(予算計上)の事務手続きを勘案すると更新前に委員会を開催した次第です。

(委員長)

今、事務局から改めて、過去の委員会の開催内容などについて説明がありました。

では、これまでに説明のありました内容について、ご質問があれば伺いたいのですが。

【各委員からの質問なし】

(委員長)

特に質問が無いようですので、次に進みます。

なお、今回の委員会においては、皆さんからの今後の進め方について、ご意見がありましたらお願いすることとし、その意見を踏まえて、次回以降の委員会開催としたいと思っています。

それでは、今後の進め方について、ご意見がありましたらお願いいたします。

【各委員からの意見なし】

(委員長)

特に無いようですが、今回の検討委員会は、年度末ということもあり、次回の検討委員会は年度が変わり委員も変更になる場合もありますので、本日の委員会では、あまり議論を深く掘り下げないこととしていきたいと考えています。

このため、今後の進め方についての事務局としての考え方を確認したいのですが。

(事務局)

事務局としての進め方としては、案を示し、次回開催に向け、委員の皆様事前に知らせたいと思っています。

また、次回の開催は、年度が変わりまして、学校関係の総会で役員が新たに決定することになると思いますが、市P連から選出の副委員長、日程的なものはどうでしょうか。

(副委員長)

市P連の総会が、4月28日に開催されるので、それ以降が適当ではないでしょうか。

(事務局)

それでは、市P連の日程、また校長会とか他の団体の日程を考慮し、その日程については、何日か候補を設定し、委員の皆さんが都合の良い日で調整したいと考えています。

(委員長)

事務局から、次回以降の進め方について、提案がありました。

なお、その日程についてはどうでしょうか。

(事務局)

5月の22日から31日の中で設定することとし、日程調整の通知は、5月の連休明けにしたいと思っています。

(委員長)

委員の皆様いかがでしょうか。

(各委員)

了承

(委員長)

それでは、今後については、その方向で進めることとし、役員が変わった場合は事務局に連絡を入れるようにしてください。

(事務局)

今、委員長がおっしゃったとおり、役員が変わった場合、日程等の案内をする際に、今回同様、推薦書及び承諾書も同封するので、その際は手続きを踏んでもらいたい。

(委員長)

この他、何か質問等ありますか。

(副委員長)

箸とか食器を使用したことが無いものですから、教職員の方々に、実際、食べている時の印象をお聞きしたい。

(委員長)

その箸について、議論と言う形になりますか。

(副委員長)

率直な印象、感想をお聞きしたい。

(委員長)

わかりました。では、関係する委員の方々お願いいたします。

(A委員)

私どもは、管内で異動がある。江別に来て、現在使用している箸について、子どもも含めて困ったという話は聞いたことがなく、私はこの箸で良いと思っている。

(B委員)

江別に来て長いのですが、食器は磁器を使用している。箸はPET箸なので、そういった点からは、大人目線では味気ないかなと思うが、子どもからは困ったという話は聞いていない。

(F委員)

私は今年度、江別に来た。給食時間は、子ども達と一緒に食べているが、前任地と比べても、遜色なく子ども達は食べていると思う。

(G委員)

私も子供たちと一緒に食べていて、子ども達も不便を感じていないようだ。前任地は箸持参の学校にいたが、江別は給食センターから箸を出してくれてるという事で、衛生面からの栄養教諭の立場からでもいいかなと思っています。

(J委員)

洗浄面でも問題はない。

(H委員)

洗浄面、作業面でも特に問題ない。

(I委員)

子どもたちと一緒に箸を使っているが、特に問題ないと思っている。

(委員長)

皆さんの感想を述べてもらいました。

その他ありますか。

(部長)

箸の更新は31年度になっているが、いつまでに選定していくのか確認したい。

(事務局)

竹箸は納期に約6ヶ月。PET箸についてはそこまでの期間を要しないが、平成31年4月から新しい箸を使用するためには、平成30年度予算に計上し、30年度中に購入する必要があることから、予算要求時期までに、この検討委員会で結論を出して行きたいので、それを勘案すると、委員会での結論は平成29年10月。

ただし、それまでに結論が出ない場合は、前回の例では、候補が出た箸の単価の高い方の竹箸で、財政とも協議が必要だが、平成30年度における予算を確保し、この1年間の中で協議していくのは可能と思われる。

(部長)

その日程で行くと、時間があるようであまりないので、委員の皆様よろしくお願ひします。選択肢としては、箸の種類を決めるか、あるいはマイ箸にするかの判断などを議論していくので、改めてよろしくお願ひいたします。

(委員長)

最後に事務局から連絡事項等ありますか。

(事務局)

先ほど、市P連の総会が4月28日に開催されるとのことでしたが、その際に役員が変更になった場合は、この検討委員会の委員のことも申し伝えてもらいたい。

また、今回の議事録はHPに掲載しますが、その前に委員の皆さんの確認後となります。

このため、議事録送付の際には、確認期日を明記しますので、修正点があれば期日までに、連絡をお願いしたい。

(委員長)

これで検討委員会を終わります。皆さん、お疲れ様でした。